

**平成29年度補正予算に含まれる金額及び新規後年度負担額**

(単位: 億円)

主な内訳	数量	歳出額	新規後年度負担額
<b>(1) 弾道ミサイル攻撃への対応</b> .....622億円 ..... (681億円)			
陸上配備型イージス・システム(イージス・アショア)の導入に関する米国からの各種情報等の取得※3	-	-	28億円
能力向上型迎撃ミサイル(PAC-3 MSE)の調達	-	91億円	210億円
固定式警戒管制レーダー(FPS-7)の換装	1式	-	42億円
自動警戒管制システム(JADGE)の能力向上	-	-	62億円
イージス艦へのBMD機能の付加等	-	531億円	-
イージス艦へのBMD機能の付加	-	73億円	-
イージス装置の取得	-	393億円	-
弾道ミサイル防衛用誘導弾関連の整備	-	66億円	-
その他	-	0.3億円	340億円
地対空誘導弾関連経費	-	-	291億円
警戒管制関連経費	-	-	7億円
地上電波測定装置の取得関連経費	1式	-	41億円
基地警備関連経費	1式	0.3億円	-
<b>(2) その他</b> .....1,723億円 ..... (1,286億円)			
新早期警戒機E-2D	1機	-	248億円
連絡偵察機LR-2	1機	-	22億円
情報収集用器材	-	-	169億円
災害対処に必要な装備品等	-	50億円	50億円
10式雪上車	7両	-	2億円
07式機動支援橋	1式	-	12億円
化学器材	-	1億円	4億円
天幕	700セット	-	4億円
個人装備品	4400セット	1億円	-
新スプリアス対応計測器	1式	-	12億円
装輪車両	643両	46億円	-
陸自OH通信システム	1式	-	9億円
その他	-	1億円	7億円
装備品等の部品費・修理費の確保等	-	128億円	414億円
装備品等の部品費・修理費の確保	-	97億円	323億円
E-2D用器材	-	-	23億円
EP-3搭載電子機器関連	-	5億円	16億円
UP-3D搭載電子機器整備用構成部品	-	2億円	7億円
基地防空用SAM関連	-	0.2億円	7億円
住宅防音関係	-	5億円	-
その他	-	19億円	37億円
海賊対処行動の派遣期間延長に係る経費等	-	357億円	7億円
海賊対処行動の派遣期間延長に係る経費	-	10億円	-
UNMISS関連経費	-	5億円	6億円
九州北部豪雨災害に係る経費	-	4億円	0.2億円
市場価格の変動に伴い不足する油・燃料費	-	174億円	-
外国為替相場の変動に伴い不足する外貨関連経費	-	155億円	-
駐留軍等労働者に係る給与改定	-	9億円	-
その他	-	1,187億円	378億円
平成27年度甲IV型警備艦	-	46億円	-
平成28年度甲IV型警備艦	-	53億円	-
平成27年度潜水艦	-	45億円	-
平成28年度潜水艦	-	65億円	-
哨戒機P-1	-	281億円	-
輸送ヘリコプター(CH-47J改修)	-	24億円	-
テイル・ロータ機	-	83億円	-
回転翼哨戒機SH-60K	-	193億円	-
イージス装置関連経費	-	59億円	-
航空機維持部品	-	83億円	-
F-15用搭載通電機器用維持部品	-	21億円	-
弾薬	-	90億円	58億円
救難ヘリコプターUH-60J	-	80億円	-
F-35A	-	19億円	-
ネットワーク電子戦システム	0.5式	-	39億円
基地防空用SAM関連	3.5式	-	185億円
個人用装備品	8140セット	26億円	16億円
対空戦闘指揮統制システム	1式	-	31億円
飛行点検機	1機	10億円	30億円
その他	-	10億円	18億円

※1 計数については、四捨五入によっているので計と符合しないことがある。

※2 計数については、初年度費を含む。

※3 「等」は、イージス・アショアを我が国に配置するにあたっての米国からの技術支援を指す。